

1 B問題(活用)に対応するための練習問題

1 次の計算をしましょう。

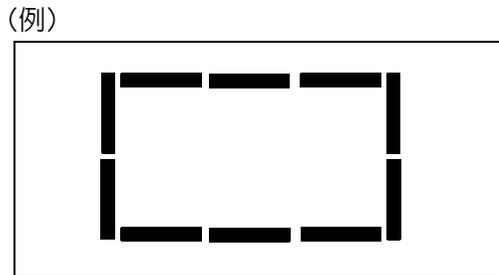
- (1) $21 - 12$ (2) $98 - 89$ (3) $86 - 68$
 (4) $42 - 24$ (5) $85 - 58$ (6) $41 - 14$
 (7) $31 + 13$ (8) $61 + 16$ (9) $91 + 19$

2 次の問いに答えましょう。

- (1) 5との差が3である数をすべて答えましょう。
 答え _____
- (2) 63は、 $10 \times 6 + 1 \times 3$ のことです。同じようにして、95を表しましょう。
 答え _____
- (3) 27の十の位と一の位を入れかえた数は、72です。同じようにして、53の十の位と一の位を入れかえた数を答えましょう。
 答え _____
- (4) 「十の位の数と一の位の数の差が1である2けたの整数」には、21、32、43などがあります。このような「十の位の数と一の位の数の差が1である2けたの整数」は、他にもあります。その中から1つを答えましょう。
 答え _____
- (5) 「十の位の数と一の位の数の差が2である2けたの整数」には、31、42、75などがあります。同じように、「十の位の数と一の位の数の差が3である2けたの整数」を1つ答えましょう。
 答え _____

3 ストローを10本使って、いろいろな長方形を作ります。右の図の(例)は、縦に2本ならべたときの長方形の図です。

( は、ストロー1本を表しています。)



(1) たてと横の本数の関係を表に整理しましょう。

たての本数(本)	1	2	3	4
横の本数(本)				

(2) この関係を、式に表します。

① ことばの式で表すと、(たての本数) + () = 5です。
 ()にあてはまることばを答えましょう。

答え _____

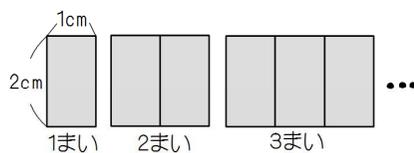
② たての本数を○、横の本数を△としたとき、この関係を式に表しましょう。

答え _____

4 たての長さが2cm、横の長さが1cmのタイルを、右の図のように1列にならべていきます。

(1) タイルの数と面積の変わり方を表に整理しましょう。

タイルの数(まい)	1	2	3	4	5
面積(cm^2)					



(2) タイルの数を○まい、面積を△ cm^2 として、○と△の関係を式に表しましょう。

答え _____

()年()組()番 名前()

5 1から9までの数が書かれたカードが1まいずつあります。



この中から2まいのカードを選び、次のような2けたのたし算の答えについて考えます。

カードを使った2けたのたし算(例)

選んだ2まいのカードを並べて、2けたの整数を2つつくり、その答え(和)を考えます。例えば **2** と **5** を選んだ場合、**25** と並べると25が出来ます。 **52** と並べると52が出来ます。2けたのたし算の式は、 $25 + 52$ で、その答え(和)は77です。

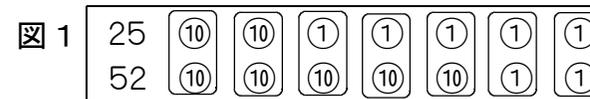
- (1) **3** と **2** を選んだときの、2けたのたし算の式と、その答え(和)を答えましょう。
 式... _____ 和... _____
- (2) **8** と **1** を選んだときの、2けたのたし算の式と、その答え(和)を答えましょう。
 式... _____ 和... _____
- (3) カードを使った2けたのたし算(例)や(1)、(2)のそれぞれの答え(和)は、同じ数の倍数になっています。この**同じ数**を答えましょう。
 答え _____

(4) えみこさんは、カードを使った2けたのたし算の結果が、同じ数の倍数になるわけを次の図を使って考えました。

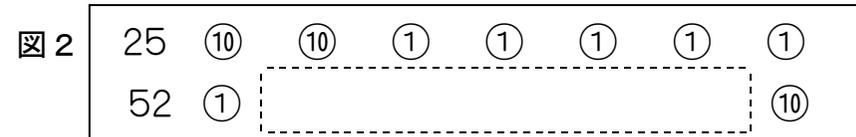
【えみこさんの考え】

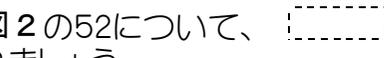
2 と **5** を選んだ25+52の場合、

25を10が2つと1が5つ、52を10が5つと1が2つとみて、図1のように表しました。



しかし、このままでは同じ数の倍数を読み取ることができないので、図1の52の表し方を工夫して、図2のように書きかえました。



【えみこさんの考え】で、図2の52について、 にあてはまる①と⑩の並べ方を考えて、上の図に書き入れましょう。

(5) のぶひろさんは、【えみこさんの考え】を聞いて、2けたのたし算の答えを、かけ算で簡単に求めることができるきまりに気がしました。

【のぶひろさんの考え】の()にあてはまる数やことばを下【用語】から選び、書き入れましょう。ただし、()の中には、同じ言葉や数が入ることもあります。

【のぶひろさんの考え】

【えみこさんの考え】の図2を上下で組み合わせると、組み合わせが()個できます。これは、カードの「2と5」の()と同じ数です。だから、カードの()に()をかけると、2けたのたし算の答えになります。

【用語】

3	7	9	11	25	52	和	差	積	商
---	---	---	----	----	----	---	---	---	---

1 B 問題 (No.1)

1 から 9 までの数が書かれたカードが 1 枚ずつあります。



この中から 2 枚のカードを選んで、次のような 2 けたのひき算の答えについて考えます。

カードを使った 2 けたのひき算

選んだ 2 枚のカードを並べて、2 けたの整数を 2 つ作り、大きい数から小さい数をひきます。

例えば、1 と 9 を選んだ場合、19 と並べると 19 がつくれます。91 と並べると 91 がつくれます。

2 けたのひき算の式 $91 - 19$

2 けたのひき算の答え 72

選んだ 2 枚のカードに書かれた数どうしの差を、「カードの差」と呼ぶことにします。例えば、1 と 9 の 2 枚のカードの差は 8 です。

() 年 () 組 () 番 名前 ()

あやかさんは、カードの差が 1, 2, 3 の場合について、すべての選び方で 2 けたのひき算をしました。

カードの差が 1 の場合

$$\begin{aligned} 21 - 12 &= 9 \\ 32 - 23 &= 9 \\ 43 - 34 &= 9 \\ 54 - 45 &= 9 \\ 65 - 56 &= 9 \\ 76 - 67 &= 9 \\ 87 - 78 &= 9 \\ 98 - 89 &= 9 \end{aligned}$$

カードの差が 2 の場合

$$\begin{aligned} 31 - 13 &= 18 \\ 42 - 24 &= 18 \\ 53 - 35 &= 18 \\ 64 - 46 &= 18 \\ 75 - 57 &= 18 \\ 86 - 68 &= 18 \\ 97 - 79 &= 18 \end{aligned}$$

カードの差が 3 の場合

$$\begin{aligned} 41 - 14 &= 27 \\ 52 - 25 &= 27 \\ 63 - 36 &= 27 \\ 74 - 47 &= 27 \\ 85 - 58 &= 27 \\ 96 - 69 &= 27 \end{aligned}$$



カードの差が 1, 2, 3 の場合、2 けたのひき算の答えは、それぞれ 9, 18, 27 になっています。

- (1) カードの差が 4 の場合の、2 けたのひき算の式を 1 つ書きましょう。
また、答えも書きましょう。

式 _____

答え _____



練習問題 1 の 1, 2, 5 と関連があるよ!

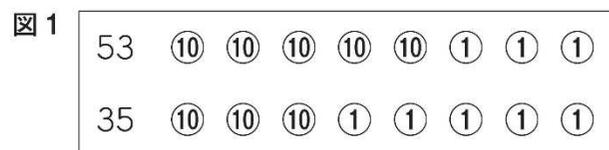
1 B 問題 (No.2)

あやかさんは、カードの差が2や3の場合に、2けたのひき算の答えがそれぞれ18、27になることを、次のように図を使って考えました。

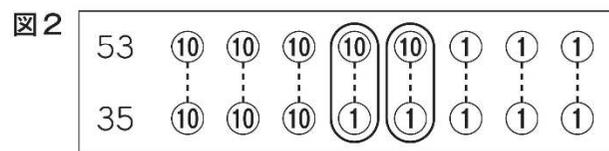
【あやかさんの考え】

カードの差が2の **3** と **5** を選んだ $53 - 35$ の場合

53 を10が5つと1が3つ、35 を10が3つと1が5つとみて、
図1のように表しました。図の中の⑩は10を、①は1を表しています。



53 から35 をひくと、残るのは図2の  の部分です。
1つの  は、 $10 - 1$ 、つまり9を表しています。

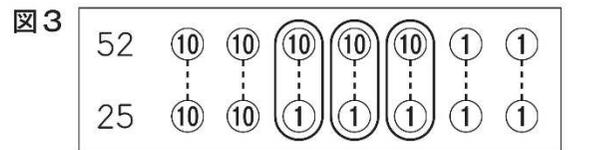


 の部分が2つ残るから、2けたのひき算の答えは、 9×2 で、18になります。

カードの差が3の **2** と **5** を選んだ $52 - 25$ の場合

カードの差が2の場合と同じように考えます。

52 から25 をひくと、残るのは図3の  の部分です。



 の部分が3つ残るから、2けたのひき算の答えは、 9×3 で、27になります。

()年()組()番 名前()

(2) カードの差が1の場合、2けたのひき算の答えが9になることを

【あやかさんの考え】と同じように考えます。

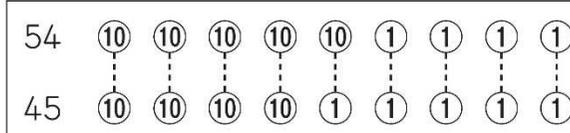
4 と **5** を選んだ $54 - 45$ の場合では、どこが残りますか。

解答用紙の図に  をかき入れましょう。

練習問題1の4
と関連があるよ!



解答用紙の図



(3) そうたさんは、カードの差が1、2、3の場合の2けたのひき算の答えを下のようにまとめました。



カードの差が1の場合、2けたのひき算の答えは9です。
カードの差が2の場合、2けたのひき算の答えは18です。
カードの差が3の場合、2けたのひき算の答えは27です。
カードの差がわかれば、2けたのひき算の答えはかけ算で簡単に求めることができます。

そうたさんが言うように、カードの差を使って、2けたのひき算の答えをかけ算で簡単に求めることができるきまりがあります。

このきまりを、言葉と数を使って書きましょう。

そのとき、「カードの差」、「2けたのひき算の答え」の2つの言葉を使いましょう。

練習問題1の3
4
5
と関連があるよ!



きまり